



月主題 月のねがい

# 1月の予定

2024年12月3日  
野毛山幼稚園

今月の聖句

受けるよりは与える方が幸いである。

使徒言行録20章35節

皆さんは、どんなときに幸福を感じますか。人それぞれ違うと思いますが、多くの場合は、何か望んでいたようになった時、ものを受けたとき、与えられたときかもしれません。思いがけずに素敵なプレゼントをもらったとき、人から感謝されたとき、親切にされたときなど、やはり嬉しいものです。ところが、「受けるよりも与える方が幸いである」と聖書は言います。人に何かをしてあげたらとても喜ばれて、自分も嬉しくなった経験があると思います。感謝祭の時に、人と分かち合うと、「ものは減る」けれども「笑顔が広がる」という屋話を聞きました。人は互いに与え合うことによって幸福になれます。自分には与えるものなど何もないとおっしゃる方もいるでしょう。何もなければ、あなたの愛と親切を与えればよいのです。大切な人にあげるおすすめのギフト、それは、あなた自身を分け与えることかもしれません。たとえば、忙しい時も、自分の時間を少しだけでも家族のために使い、家族を喜ばせること。自分の好みを押し付けるのではなく、家族が喜ぶ何か小さいことをしてあげること。自分の話ばかりせず、話を聴いてほしい人の声に耳をかたむけること、など。このようにわたしたちが自分自身を与えることによって、わたしたちのまわりに幸福は生まれます。

愛している人は与える。いつも与える。  
その人は、自らのうちに、尽きることのない豊かさを持っている。 キアラ・キービツ

主題	年少くみ組	年中すずらん・年長ゆり組
じっくりと (年少組) かさねる (年中組・ 年長組)	クリスマスを通してイエスさまを身近に感じ、お話を聞く。	クリスマスに与えられた喜びを引き続き感じながら、聖書の物語に親しむ。
	お正月遊び、昔遊びなどに親しみ、友だちと一緒に遊ぶ楽しさを知る。	今まで楽しんでできたことに新たな経験を重ね遊びを広げる。
	寒い季節の自然、氷、霜柱などに触れる中、体を動かすと暖かくなることを知る。	冬の不思議やおもしろさに気付き、友だちと調べたり試したりする。

予定

日	曜	予 定	備 考
7	火	3学期始業	平常保育 (保護者の集まりはありません)
9	木	おもちつき	11時40分降園
13	月	成人の日	休園
15	水	1月誕生会	11時20分降園
28	火	年長ゆり組 食育の会	

ランチ 10日(金)から

こひつじ 6日(月)から



年 少(くみ組)	年 中(すずらん組)	年 長(ゆり組)
<p>思いきり身体を動かして遊ぶ。</p> <p>追いかけたり、追いかけられたりすることを楽しむ。</p> <p>乗り物遊びなどを通して、順番や簡単なルールを知る。</p> <p>自分の思ったことや感じたことをことばや態度で伝える。</p> <p>お正月のあそびを楽しむ。</p> <p>冬の衛生に気をつける。</p> <p>冬の自然にふれる。</p> <p>曲にあわせて歌ったり、踊ったりする。</p> <p>たくさんの絵本や紙芝居に親しむ。</p> <p>おもちつきを経験する。</p> <p>楽しく工作遊びをする。</p> 	<p>思いきり身体を動かして遊ぶ。</p> <p>みんなで一緒に活動することの楽しさを知る。</p> <p>お正月のあそびを楽しむ。</p> <p>新しくなったカレンダーに興味を持つ。</p> <p>友だちとのつながりを深める。</p> <p>おもちつきの経験をjする。</p> <p>冬の自然に関心を持つ。</p> <p>冬の衛生に気をつける。</p> <p>たくさんの本や紙芝居に親しむ。</p> <p>楽しく工作遊びをする。</p> 	<p>冬休み中の経験をわかるように話す。</p> <p>自分の考えを相手にわかるように伝える。</p> <p>寒くても戸外に出て身体を動かして遊ぶ。</p> <p>お正月のあそびを楽しむ。</p> <p>おもちのできるまでの様子を見る。</p> <p>おもちつきの経験をjする。</p> <p>冬の自然に興味、関心を持つ。</p> <p>さまざまなことに目を向け、気づく心を持つ。</p> <p>わたしたちはいのちをいただいて生かされていることを感じ、感謝の気持ちを持つ。</p> <p>わからないことや不思議に思ったことを調べる。</p> <p>楽しく歌ったり、ことばの意味を考えながら表現したりする。</p> <p>新しいカレンダーに関心を持ち、一日一日を大切に過ごす。</p>